

公表 ける自己評価総括表(放課後等デイサービス事業)

○事業所名	こどもサポート教室教室「きらり」三島校		
○保護者評価実施期間	2024年10月21日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 51
○従業者評価実施期間	2024年10月21日		～ 2024年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援をおこなっているため利用者の要望、状況に合わせた支援プログラムを組むことができるため概ね利用者からは支援内容について満足頂けていること。	・支援内容、プログラムについて支援員数(6人※非常勤含め)が少ないこともあり、ほぼ口頭で利用者の様子、支援の引き継ぎを密に行うことが出来ている。その際、必要に応じて経験のある職員から少ない職員への助言、提案等おこなうことが出来ている。	・法人設立の研究機関(「発達支援研究所」)より年間を通じて事例検討等毎月支援の質の向上のための研修が行われている。また、職員間の会話が多い事業所の風土もあり、経験の豊富な職員からの利用者の場面、状況に応じた話がしやすい環境にあるためこれを続けていきたい。
2	・法人主導による報酬改定(制度改定)に伴うシステムの導入。	・支援記録、個別支援計画の作成等の制度改定に伴う運営に必要な書式システムの導入を法人主導でおこなっているため必要な事項を漏れが無く行うことが出来ている。	・法人が大きく、他の都道府県でも児童支援事業をおこなっているため上長を通じて情報を入手することが可能。良い事例を参考にさらに充実を図ることが出来る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の構造上、バリアフリーではあるが、入口が狭いため利用者の入れ替え時に若干混雑して利用者にご迷惑をかける場面がある。	・声掛け等のマンパワーで可能な限りご不快にならないようになっているが、入口の狭さは建物の構造上の要因である。	・利用者の利便性等に差しさわりのない移転物件を探している。 ・入口の混雑解消のため個人情報の漏洩に注意しつつ、利用者にお待ち頂く際、事務所の活用(お休みの職員がいるため)等おこなっていく。
2	・利用者との必要な情報のやりとり及び周知が不十分なこと。	・毎日の支援御のフィードバック時に保護者とのやりとりが出来ているが、時間に限りがあるため不十分になっている可能性がある。	・必要に応じて、支援後のフィードバック時以外の時間も電話等で児発管、支援員が保護者支援をおこなうことを再度周知していく。また、ブログ等を活用して必要な事項についての周知を進めていく。
3			

公表 〇の事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス事業)

事業所名 〇〇サポート教室教室「きらり」三島校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 70

回収数 51

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	44	7				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	48	1		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	6	2	3	・本日の利用部屋を入口に提示してほしい。 ・玄関(入口)が狭いと感じる。	・利用者が来所された際、対応した職員が本日の利用部屋をお伝えさせていただきます。 ・入口の狭さは対応が難しいため、良い物件がありましたら会社として移転を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47	3	1	1	・広い部屋での支援時はダイナミックな活動にして欲しい	・広い部屋で1人で活動する際のプログラムを工夫させていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	49		1	1	・専門性を感じず、毎回子どものベースに合わせ時間を無駄にしていると感じる。 ・1つの課題に対し、多角的に職員が子どもを見ていると感じる。 ・毎回、子どもへの声掛けの仕方、活動中の対応など感心して見学している。 ・子どものことを良く理解しようとしている。暖かい言葉をかけてもらい、帰宅後子どもは満足そうな表情をしている。 ・就学により、学習面の心配事も増えた。先生に得意、不得意があると思うため相談したい時に意見を聞きたい先生と会えない難しさを感じる。 ・不安に思っていることを伝えるとそれに適した支援内容をすぐに考えてもらえ助かります。	・「専門性を感じず…」のご意見、真摯に受け止めさせていただきます。利用者のベースにどこまで(いつまで)合わせるかは、職員間で検討しておりますが、不十分との認識を持ち支援に当たらせて頂きます。今後とも忌憚のないご意見頂けるとありがたいです。 ・生活面、学習面等ご相談頂きましたら制度上可能な限り対応させていただきます。遠慮なくおっしゃって頂けますとありがたいです。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	4		3	・親も勉強になっている。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	50	1			・普段あまり誉められることがない子どもなので、支援を通じて先生にたくさん誉めてもらいとても嬉しそう。小さな自信が少しずつ積みあがっているように感じる。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48	1		2	・要望に応じた支援内容をしてもらっている。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	49		1	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	2	1	1	・内容を少しずつ変えて、工夫してもらっている。 ・不安に思っていることを相談すると、支援内容を考え、取り入れてもらえる。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	10	20	13	・事業所にこの要望を求めている。	・利用者からのご要望がありましたら対応致します。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50		1				
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	51						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	6	13	14		・行政等の公共機関で行われる研修案内等は掲示等で周知させて頂いております。また、利用者からのご要望、ご相談には個別にて対応させて頂いております。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	48	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に話が出来る。 ・支援終了後に今日の内容をフィードバックしてもらっている。 ・学習面の相談をした際、即対応してもらった。 ・全ての先生に情報共有することは難しいと思いますが、先生が代わる度に同じ話をすることは嫌です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に複数の職員が支援に入るため職員間で前回の支援内容等の引継ぎは毎日おこなっております。「先生が代わる度に…」のご意見、大変申し訳ございません。職員間の引継ぎを更に徹底致します。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	6	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に子どもの様子を話し合う日があれば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバック時、及び電話等で個別にご相談を受けさせて頂いております。定期的のご要望にも個別に対応させて頂きます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	51					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	5	16	10	20		<ul style="list-style-type: none"> ・家族への支援については、ご相談がありましたら個別にて対応させて頂いております。 ・保護者会等の交流に関しましては、利用者からのご要望がありましたら対応させて頂きます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	5	1	7		<ul style="list-style-type: none"> ・相談について対応することの周知が不十分でありました。フィードバック時等の再度周知致します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	45	5	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	9	7	14		<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価については、HP、掲示で周知しております。また、活動内容等については、口頭、掲示、2回/月/ブログにて周知しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	49			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	4	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・説明はあったが、実際の訓練はわからない。 ・契約時に非常事態発生時等について丁寧な説明を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルについては、契約時に重要事項説明書にて説明しております。 ・訓練の実施状況については、今後ブログにて周知致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	5	3	22		<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所では、会社の年間スケジュールに則り毎月非常災害発生に備えた訓練を一部の利用者にご参加頂き、行っております。訓練の実施状況については、今後ブログ等にて周知していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	4	1	9		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画の周知は、契約時に行っております。安全な支援については、ヒヤリハット等職員間で情報共有しております。開所以来、事故案件は発生しておりませんが、今後も安全に配慮して支援をしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39	6		6		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	51				<ul style="list-style-type: none"> ・他の習い事は行きたくないと言っているが、きょうだいは通所4ヶ月になるが、一度も愚痴を聞いていない。時間になると「行こう」と自ら言う。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	51				<ul style="list-style-type: none"> ・毎回とても楽しみにしている。 ・学校の出来事を話すことも楽しみにしている。 ・行く前に「今日は何をやるのかな〜？」と話している。 ・次回におこなう活動の予告があり、通所を楽しみにしている日もあります。 ・疲れている時、気乗りがしない日は行ったりあります。同じ先生が続くと刺激が足りないのか足が重い日もあります。新しい先生は警戒します。本人の気持ち次第で疲れます。 ・先生と話すことを楽しみにしている。親に言っていないことも先生との話の中で知れることもあります。 	

	29	事業所の支援に満足していますか。	48	2	1	<p>・毎回やる意味を感じない。</p> <p>・親が気づかないことを毎回取り組んでもらっている。</p> <p>・子どもに合わせて支援が適格に行われており、子どもの成長が見れて嬉しい。</p> <p>・ここ数年で子どもの発達が良い方向に向かっていると感じていることが多い。</p>	<p>・支援内容について「意味を感じない」という忌憚のないご意見、感謝いたします。「わからない」も含めて、ご利用頂いている全ての利用者から支援に満足頂いているわけではない事を職員間で共有し、今後の支援内容の向上に生かしていきます。今年度から支援内容に5領域が求められ、制度上からも専門性とは？が問われています。再度支援内容を見直し、向上させていきます。</p>
--	----	------------------	----	---	---	---	--

事業公表する自己評価結果（放課後等デイサービス事業）

事業所名		公表日			
こどもサポート教室教室「きらり」三島校		2025年 2月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		・教室の活動スペースが広くないため、会社と相談の上、機会があれば移転を検討する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		・段差がないためバリアフリーではあるが、入口の狭いこと課題としてある。 また、利用者のプライバシーを守ることも工夫が必要である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者評価は現在未実施。法人として今後実施を検討中である。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			今年度中に支援プログラムの公表を行う。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			・利用者の要望に応じて個別に対応している。周知が十分でない可能性はあるため今後も周知を続けていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		7		・基本的に個別支援を行っているため集団活動が必要な利用者については、相談支援事業所等を通じて他事業所との併用を保護者に勧めている。他事業所との情報共有は、保護者、相談支援事業所を通じておこなっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			・支援時間が、終業時間まじかまでである場合は翌日に支援の振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			・定期的に支援記録の検証をおこなっている。必要に応じて改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			・利用者のその日の状態に合わせて支援が出来るように準備の際、複数の選択肢を用意する。また、支援開始時に本人と相談の上支援内容を決めることもある。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			・基本的に支援時間の関係から児発管が参加している。今後必要に応じて支援員も参加できるように配慮したい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。 ・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2		・保護者にご協力いただき、可能な限り聞き取りをおこなっているが100%ではない。 ・今後も保護者にご協力をお願いしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		・保護者の要望に応じて個別に対応している。 ・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			・相談支援事業所等、成人の相談にのって頂ける事業所に引継ぎをおこなっている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			・保護者の要望に応じて個別に対応しているが、十分とは言えない。 ・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		・利用者からの要望がありましたら実施を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			・管理者が行政より「人材育成部会」の委員に任命され1回/月会合に参加、毎年行われる研修に参画している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。 ・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			・行政等の公共機関で行われる研修案内等は掲示等で周知させて頂いております。また、利用者からのご要望、ご相談には個別にて対応させて頂いております。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7	・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	3	・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		・利用者からの要望がありましたら実施を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			・利用者からの要望がありましたら実施を検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知方法を工夫します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		新規利用面談時及び毎年の状況アセスメントをおこなっている。また、状況の変化があれば都度伺っている。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知方法を工夫します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		飲食物の提供をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知方法を工夫します。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知方法を工夫します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				